牛道春秋

駐在妻の棚

▼ある日、学校からの配布物を通学鞄に溜め込み続ける長男が、珍しく自主的に書類を渡してきました。▼それは、長男が今年度最も楽しみにしていた宿泊研修に関する書類でした。▼その時の長男の顔は、いつもに増して締まりのないものになっていました。▼それから口を酸っぱくして、前もって荷物の準備をするように言い続けましたが、結局、前日の夜に大慌てで、全ての荷物をグチャグチャに鞄に詰め込んでいました。▼２日後、無事に研修を終え元気に帰宅した長男から、沢山のお土産話と白川郷笹団子を分けてもらいました。▼この時は、まだ元気一杯でした。そうこの時までは・・・▼それから２日後、実力テストと期末テストの結果が返ってきました。▼帰宅した長男は、宿泊研修の書類を渡してきた時とは、打って変わって神妙な顔をして二枚の書類を渡してきました。▼その書類にはとてもとても小さな５角形が描かれていました。▼まだ、結果を隠さないだけましかと考え、何とか怒りを抑えました。▼そういえば、夫が健康診断の結果を出してきた時も同じように締まりのない腹で神妙な顔をしていたなと気付き、血は争えないと諦めました。▼夫の時は怒りを抑えず、再検査の診察料を払わせました。